

# Hello! FUJISEI

No. 71

## 増え続ける65歳以上の高齢者

# 80歳以上は866万人 総人口の6.8%に！

総務省統計局は、毎年「敬老の日」を迎えるに当たって、「統計からみた我が国の高齢者のすがた」について取りまとめています。

それによると、65歳以上の高齢者人口（平成23年9月15日現在推計）は2,980万人で、総人口に占める割合は23.3%となっています。前年（2,956万人、23.1%）と比べると、24万人、0.2ポイント増と、人口、割合ともに過去最高となっています。

年齢階級別にみると、70歳以上は2,197万人（総人口の17.2%）で、

前年と比べ68万人、0.6ポイント増、75歳以上は1,480万人（同11.6%）で、53万人、0.5ポイント増、80歳以上は866万人（同6.8%）で、38万人、0.3ポイント増となっています。

男女別では、男性1,273万人（男性人口の20.5%）、女性1,707万人（女性人口の26.0%）と、女性が男性より434万人多くなっています。

人口性比（女性100人に対する男性の数）を年齢3区分別にみると、0～14歳では105.2、15～64歳では101.3と男性が多いのに対し、65歳以上では74.6と女性が多くなり、70

歳以上では69.4、75歳以上では62.1、80歳以上では52.4と、女性がさらに高くなっています。

なお、都道府県別に平成22年の高齢者の転出超過数をみると、東京都が4,348人と最も多く、次いで大阪府1,435人、北海道345人、山口県277人など28都道府県で転出超過となっています。

一方、転入超過数をみると、千葉県が2,029人と最も多く、次いで埼玉県1,993人、神奈川県1,268人、茨城県1,211人など、19県で転入超過となっています。

### 高齢者人口の推移（昭和25年～平成23年）

（総務省統計局「統計からみた我が国の高齢者－「敬老の日」にちなんで－」より）

